

# 松友

発行

二松学舎大学附属高等学校  
松友編集委員会

〒102-0074  
東京都千代田区九段南2-1-32  
電話：03-3261-9288  
FAX：03-3261-9280  
<http://shoyukai.p2.bindsite.jp/>

## 校長先生ご挨拶



名誉会長(校長) 鶴飼 敦之

昨年度、校長として着任し1年が経ちました。日々新たな発見に新鮮さを感じながら、学校経営に取り組んでおります。

ここ2、3年は新型コロナウイルスに翻弄されてきましたが、昨年度は多少の制限を受けながらも生徒たちの学習の機会をできる限り確保するため、先生方と取り組んでまいりました。しかし、生徒たち自身が工夫を重ね、様々な行事等を盛り上げてくれました。3年ぶりという前置きが付く行事の数々ですが、二松学舎祭、雪国体験授業や修学旅行など、高校生活の思い出として印象に残る内容に

なつたことと思います。

部活動では、野球部の夏・春の甲子園大会出場という活躍は目覚ましく、同窓会会員の皆さまにもご支援・ご声援などの成果をあげています。その他、各部活動の取組は「二松だより」や学校ホームページ等でも紹介をさせていただいておりますのでご覧ください。

昨年度、73期生201名の卒業生を送り出し、同窓会も1万8千余名を数えます。今後とも伝統を未来に繋いでいけるよう、教職員一同心を合わせて邁進して参りますので、同窓会の皆様には尚一層のご支援ご協力をお願いいたしまして挨拶とさせていただきます。



## 会長ご挨拶



会長 大林 一夫(35期)

二松学舎大学附属高等学校・同窓会(松友会)会長(35期)の大林でございます。日頃より松友会の活動並びに運営にご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

月日が過ぎるのは早いもので、会長職をお受けしてから早2年が過ぎようとしております。

この2年間で思い深い事としては、野球部の生徒が、夏春と4期連続甲子園出場という快挙を成し遂げたことです。私が入学時は市原監督(当時エースピッチャー)が春の選抜高校野球にて見事に準優勝に輝いた年でした。

在校中も地区予選にて準優勝(当時元千葉ロッテ初芝さん)で甲子園に手が届かず…。在校中以降も現在に至るまで二松学舎の野球が好きで(もちろん学校も)150試合以上観戦しております。特に長女が附属高校に

入学(鈴木誠也さんの1つ上でした)を機に熱が上がり、次女が附属高校入学(大江竜聖さんと同級生でした)と同時に父の会会長を3年間お受けした間は観戦皆勤賞。現在の松友会会長になり現在も観戦皆勤賞で頑張っております。

今後も母校の後輩たちの活躍を心から期待し、応援したいと思います。

近年、コロナウイルス感染対策で球場での応援も制限されておりませんが、終息後はオール二松の応援をグラウンドに球場に響かせたいと思います。

近々の話題としては、我々卒業生として誇れる新一万円札の顔として「渋沢栄一」が発表されました。渋沢栄一は二松学舎の舎長を務められ、本学の設立者・三島中州とも関係が深いとのこと。

伝統ある二松学舎の更なる発展の為、学校法人二松学舎・松友会(大学)・松友会(附属高等学校)・松柏会(附属柏中高等学校)の同意と協力体制も不可欠と考えております。

松友会会員の皆様のご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。

## 期別幹事会

日時 2023年6月10日(土)

14時

場所 附属高等学校

※総会議案を審議致しますので、各期の期別幹事はご出席下さい。

## 定時総会

**新型コロナウイルスの感染防止対策のため、本年度は実施しない事が決定いたしました。**

## 第69期生ホームカミングデー

**新型コロナウイルスの感染防止対策のため、本年度は実施しない事が決定いたしました。**

# 野球部報告

野球部マネージャー 小林 杏綺

この度は第104回全国高等学校野球選手権大会出場に際しまして、たくさん応援ありがとうございました。結果は3回戦で惜しくも敗退となりました。ですが試合をしていく中で多くの学びを得ることができました。甲子園を指して野球ができるこの環境が当たり前ではないこと、多くの応援して下さっている方々がいることを忘れずに練習に励んでいきます。今大会で学んだ事、3年生が残して下さった事を新チームに引き継ぎ、4期連続甲子園出場を目指して努力していきます。そして必ず日本一になり、監督さんや二松學舎のみなさんに恩返しができるように頑張ります。その際は応援の程よろしく願います。



# ダンス部報告

元3年E組25番 根津 祐海

9月17日から9月20日まで Butterfly effectの8人で北九州遠征に行かせて頂きました。初日はJAPAN DANCE DELIGHTで踊らせて頂き多くの刺激を受けました。二日目がチームダンス選手権大会当日です。本番は全員が悔いを残さず踊りきることが出来ました。残念ながら結果を残すことは出来なかったのですが、いい踊りが出来ました。

三日目は台風の影響でホテルにいたのですが、雨が降っていない時に小倉城を見に行き、ホテルの中で文化祭の練習をしたり、観明高校の皆さんと練習をしたり充実した時間になりました。目標としていた日本一をとることはできませんでしたが、とても充実した一生忘れる事のない四日間を過ごすことが出来ました。来年はButterfly effectとチーム二松に文部科学大臣賞を取ってきたいです。応援して下さいました校長先生、学校の先生方、保護者の皆様、本当にありがとうございました。



2021年度 松友会収支決算報告 (2021年4月1日～2022年3月31日) (単位：円)

科目	予算額	決算額	差額	摘要
前年度繰越金	6,326,617	6,326,617	0	
2021年度卒業生入会金	693,000	690,000	-3,000	3,000円×実卒業生数230人
2021年度卒業生年会費	2,310,000	2,300,000	-10,000	10,000円×実卒業生数230人
卒業生年会費	600,000	479,696	-120,304	目標200件
受取利息	10	28	18	
その他	0	0	0	
合計	9,929,627	9,796,341	-133,286	

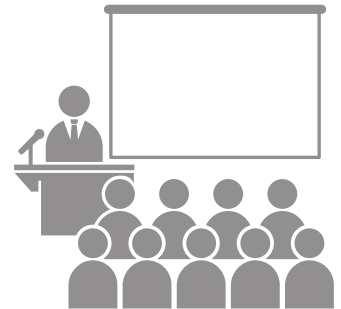
科目	予算額	決算額	差額	摘要
学園祭支援金	100,000	100,000	0	二松学舎祭支援
生徒会支援金	400,000	0	400,000	部活動支援
修学援助金	0	0	0	積立中止も、対象者が発生した場合、援助金の口座から支出
教育活動支援金	500,000	500,000	0	大学・附属高校・柏中高の周年事業費として別口座に積立て
卒業記念品費	500,000	266,640	233,360	新卒業生への記念品代
同期会通信費	100,000	0	100,000	同期会開催への補助
『松友』作成費	400,000	306,900	93,100	『松友』作成
事務費	200,000	69,248	130,752	総会案内など関連印刷物を含む
郵送費	100,000	1,630	98,370	ホームカミングデー案内状含む
振込手数料	10,000	11,440	-1,440	
交際費	100,000	30,000	70,000	慶弔費を含む
旅費・交通費	100,000	13,340	86,660	
松友会基金	500,000	306,049	193,951	総会後の懇親会補助・ホームカミングデー補助・HP運営経費
業者委託費	1,600,000	1,613,881	-13,881	(株)同窓会事務局(『松友』郵送費を含む)
予備費	1,000,000	1,421,984	-421,984	部活動の全国大会出場等に対応(野球部およびダンス部)
次年度繰越金	4,319,627	5,155,229	-835,602	
合計	9,929,627	9,796,341	133,286	

<2021年度末残高(次年度繰越金内訳)> (郵便振替) 0円+(普通預金円) 5,078,877円+(手許現金) 76,352円=5,155,229円

期別幹事会・総会報告

期別幹事会および総会は、2022年6月11日に開催されました。昨年度は、新型コロナウイルスの影響によりオンライン形式での開催でしたが、数年ぶりに会議室にお集まりいただき、開催することができました。

提案通り、令和3年度の事業および決算、役員人事、令和4年度の事業計画案および予算案は承認されました。ありがとうございました。



卒業生報告

卒業生の、伊藤 功(つとむ)さんが、「ネリンピック全国大会」の囲碁部門全国大会(令和4年11月12日～14日)に出場され、優勝



同窓会報告

「傘寿」を迎えた仲間たち

中移 昭彦(11期B組)

2017年5月の北海道札幌を訪問して以来、暫く途絶えていた(コロナの影響もあり)「平会」ですが、この間に二人が鬼籍に入り、残された連絡の取れる12人が「傘寿」を迎え、感染状況もやや減少傾向に入った今、参加を呼び掛けたところ、持病が悪化して入院したり、家族に健康不安を抱え付き添わねばならないなどで、参加できたのは5人でしたが、横浜元町のわがままを叶えてくれる創作料理店「わがまま」で久方ぶりに再開、蟹爪・ふかひれ料理を堪能しながらそれぞれの近況と高校生当時の印象や、やんちゃして先生を困らせた思い出話など話



昭和の男は強いぞ!!  
コロナに勝つ!!  
病に負けない!!  
この健康を約束して散会しました。

(日本一)されました。おめでとうございます!!



相模原あじさいチーム

2022年度の  
教育実習生を紹介しします

氏名	大学	学部	学科	担当教科	出身高校
武内優生乃	専修	法	法律	地歴公民(希望・日本史)	二松学舎
石坂直哉	国学院	文学	史(日本史専攻)	地歴公民	二松学舎
中沖宗太郎	大正	文学	歴史(日本史専攻)	地歴のみ	二松学舎
宇山里奈	二松学舎	文学	国文(国文学専攻)	国語	二松学舎
中西弘美	日本	文理 (通信教育)	(文学専攻)	国語	二松学舎
高井彩那	東京理科	理	数	数学	二松学舎
小川千咲	日本	文理	生命科学(生物専攻)	理科(希望・生物)	二松学舎
木戸彩	女子栄養	栄養	保健栄養(保健看護専攻)	保健	二松学舎



2022・二松学舎祭開催



まず初めに、常日頃より本校の生徒会活動にご理解ご協力ありがとうございます。皆さまのお力供えもあり、今年度の文化祭も無事終えることができました。今年度は、「それゆけ！二松学舎く愛と勇気の二松祭」といったスローガンを元に二松祭を開催致しました。三年ぶりの有観客や対面でのパフォーマンスなど、先生方と協議を重ね、できる限りの規制を緩和した状態で当日を迎えることができ、私自身スローガンに恥じない行事を運営できたと感じています。

また、今年度の二松祭では、「二松祭実行委員」を立ち上げました。生徒会ではない生徒からの意見を多く取り入れるために、五月上旬から募集をしました。今年度は、三年生三人、二年生四人、一年生二人の計九名の方々に二松祭実行委員として、様々な場面で助けてもらいました。

クラスやクラブでの出し物は、三年ぶりに対面で行われました。縁日や脱出ゲームなどの文化祭ならではの出し物を始めとして、映像による出し物や展示など、各クラス、クラブの特徴が色濃く出た出し物となりました。

社会情勢によって、様々な配慮、規制が求められる今日ではありますが、二松学舎はこれからも躍進し続けます。来年度は今年度より格段に良い二松祭になると思われます。これからも生徒会活動並びに二松学舎の活動にご理解ご協力、お力供えのほどよろしくお願い致します。

松友会主催

# 「ニ松クリアファイル」 デザインコンテスト

今年度も生徒たちからも評判の良いクリアファイルのデザインを在校生から募集しました。  
多くの応募作品の中から、厳正な審査を経て、下記のデザインを選考しました。

最優秀賞に選ばれたクリアファイルは、在校生に配布すると共に期別幹事会、総会等で配布する予定です。



3年B組 高村 結衣さん

最優秀賞



1年C組 柿沼 寿音さん

優秀賞



2年D組  
大石 かぐやさん

# 恩師から卒業生へメッセージ

多くの卒業生から「あの先生はお元気ですか？」などのご意見をいただいております。今回は、令和4年度に3学年を担当しておられました先生方に、卒業生へメッセージを頂きました。



## A組 麻生 修平 (英語科)

この度三年生の担任を務めました麻生修平です。早いもので私が担任を務めて生徒を卒業させるのも、今回で三回目になりました。かくいう私も卒業生。学年主任の野木も卒業生。二松学舎のDNAを時代に繋げられるようにと思いい生徒への指導に当たってきました。私は、二松学舎のDNAとは、「優れた人間力」であると考えています。優秀な人間である前に善良な人間であること。義理人情を大切に、他者のために行動できること。そのような人間性を育てていくことが、母校で教員をする甲斐性だと感じています。

今年の卒業生たちは、コロナ禍で高校三年間を過ぎた世代になります。学校行事の中止、延期や行動の制限など、生徒たちには多大な我慢を強いてきました。そのような困難な状況下でも、明るく前向きに学校生活を送ってきた彼らならば、これから待ち受ける困難も乗り越えていけると信じています。そして、二松学舎の卒業生の名に恥じない活躍をしてくれることを祈念しています。

## B組 服部 真悠理 (地歴公民科)

卒業生のみなさん、お久しぶりです。元気に過ごしていますか。九段下では桜がとても綺麗に咲きました。みなさんが新しい生活の中でも、沢山の希望をもち、笑顔であふれる毎日を過ごしているこ

とを願っています。またみなさんの楽しいお話を聞ける日を楽しみにしています。

## C組 西條 智博 (保健体育科)

卒業生のみなさん、お元気ですか。卒業式から早いもので1か月が過ぎました。新生活はいかがでしょうか。これから多くの困難があると思いますが、3年間で培った「考動力」を武器に、しっかりと歩んでください。

## D組 間 慎介 (数学科)

あの頃、学校が世界のすべてだった皆さんは新たな世界に飛び出して何を思うでしょうか。二松学舎で学んだ力を大いに発揮して、世界を変えてくれると期待しています。いつでも遊びに来てください、筋トレしながら待っています。

## E組 野木 繁 (国語科)

学年主任担任を3年間担当し、この春、卒業生を送り出しました。コロナ禍での3年間でしたが、「できないこと」より「できること」をどのように実現するかを考えながら、一歩一歩進んできました。これからも前を向いて、歩んでくれることを信じています。

## 編集後記

長かった新型コロナウィルスとの戦いも収束が見えてきた。2023年3月13日からマスク着用についての緩和、同年5月8日からインフルエンザと同等の5類感染症に位置付けることが決定された。そんなコロナ禍であっても、現役の高校生たちの活躍は素晴らしく、野球部の4季連続の甲子園出場やダンス部の全国レベルでの活躍は、卒業生としても嬉しく、また誇らしく感じる。コロナ禍だから難しい・できないという思い込みを感じさせない高校生のパワーを見習いたい。(紺)

## 計報

### 購買のおぼちゃん ありがとう。

二松学舎の購買に立ち続けていただいた、あの「おぼちゃん」が亡くなりました。謹んで、ご冥福をお祈り申し上げます。

